



見え方は違っていても

校長 佐藤 郁子

5月の初旬に、今年から6年生の移動教室の行き先となる河口湖に、学年主任のT主任教諭と実践にてかけました。

富士山を擁する立地とあって、あらゆる観光が富士山に関連付けられており、県にとって富士山そのものが大きな財産であるということを実感しました。

2月に西伊豆に行き、静岡県駿河湾から臨む富士山を見ました。青い海の上に聳え立つ姿に圧倒されました。そして、今回は山梨県側からの富士山。天気は晴れだったのですが、生憎、山の上は雲で覆われ、富士山の裾野を見てきた感じとなりました。その際、小御岳火山部分の五合目の肩をうっすらと見ました。東京や静岡側からは、この富士山の肩が見えません。

途中で立ち寄った観光ガイドセンターに、富士山を東西南北八方向から撮影された写真が飾られていました。どの姿も美しいのですが、微妙に姿が違います。山は自然の造形ですから、すべてが対称ではありません。見える位置により姿が違って当然です。しかし、「富士山」と聞いて、万人が思い浮かべるのは、青空にスッと立ち、山頂に雪帽子を被っている姿だと思うのです。それが例え、独立峰だという理由にしても、どこから見ても美しいというのは稀有な存在なのでしょう。

見え方が違うのは、人も同じです。立場や相手との関係性によって、接し方や距離の置き方は変わってきます。仕事やプライベートではよい意味でのギャップもあるでしょう。

しかし、芯の部分では、その人の人となりが見えてくるものです。見え方は違っていても、その姿の違いの中に、その人なりの普遍性が表れてくるのではないのでしょうか。日頃の振る舞いや佇まいに、その人の姿が表れるということを、改めて考えさせられました。

子どもたちは、まだまだ発展途中です。いろいろな経験をとおして、自分の見え方を知り、学んでほしいと思いました。

目指せ！富士山。

水泳指導について

体育的行事委員会

6月9日（月）から7月18日（金）の期間、水泳指導を行います。

低学年は、水の中でジャンプをしたり、もぐったりするなどの水遊びを通して水に慣れていきます。中学年は、もぐる・浮くなどの活動を通して初歩的な泳ぎを学びます。高学年では、手と足の動きに呼吸を合わせながら、25～50m泳ぐことにチャレンジしたり、水難事故防止の着衣泳に取り組んだりします。

子どもたちが自分で目標を立てて取り組みます。すでにお知らせしましたが、今年度より検定も廃止し、より一人一人に合った指導を展開し、安全に気を付けて水に親しむことができるよう、教員一同努めてまいります。

お子さまの体調確認や、水泳用具の準備など、ご家庭でもご協力いただくことがあります。水着についてもより詳しくお知らせに記載しました。ご協力よろしくお願いいたします。

学校公開のお知らせ

教務部

子どもたちの学校生活の様子を保護者や地域の皆様に公開いたします。本校の教育内容についてご覧いただき、ご理解をいただく機会となれば幸いです。

また6月13日（金）には、セーフティ教室を併せて行います。地域・保護者の方々と連携し、子どもたちの安全・安心な生活を築くための機会となればと思います。

〔日程〕6月12日（木）～6月14日（土）〔3日間〕

〔時間〕3日間とも午前中のみ公開（受付：8：25～）

※午後の授業時数により各学年の下校時刻が変わります。

※授業内容につきましては、後日配信のお知らせをご参照ください。

※5・6年生の移動教室説明会を、6月14日（土）14時から行います。5年生は体育館、6年生は多目的室①にて行います。該当学年の保護者の方は、ご参加をお願いいたします。